

不動産罹災申告書

申告日を記載してください → 令和〇〇年〇〇月〇〇日										
遠賀郡消防署長 様										
申告者 住所 〇〇郡〇〇町〇〇1丁目1番1号										
電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇										
該当するものを○で囲んでください 氏名 遠賀 太郎										
罹災年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日						罹災物件と申告者の関係		
罹災場所		遠賀郡〇〇町〇〇1丁目1番1号						所有者 管理者・占有者		
建物 状況	罹災前の状況 (該当する物を○で囲む)	用途	構造	屋根	外壁	階数		面積		
		住宅	木造	瓦	土塀	地上	階	建築面積 (㎡)	※別で解説 ㎡	
		併用	防火	スレート	モルタル	地下	階	延べ面積 (㎡)	※別で解説 ㎡	
	取得年月日・金額	記録・記憶・推定・不明	(該当するものを○で囲んでください。)							
		建築	年	月	3.3㎡当たりの単価 (円)	円				
購入		年	月	総金額 (円)	土地を除いた金額を記載 円					
経過	年	月	増築・改築・修繕した箇所				左の面積 (㎡)		左の費用 (円)	
	明・大・昭・平	年	月	複数回ある場合は、経過がわかるように記載				㎡		円
居住世帯		〇 世帯			居住人員			〇 人		
被災者	氏名	続柄	生年月日			備考				
	遠賀 太郎	本人	昭和〇年 〇月 〇日 (〇〇歳)							
	遠賀 花子	妻	昭和〇年 〇月 〇日 (〇〇歳)							
	遠賀 一郎	子	平成〇年 〇月 〇日 (〇〇歳)							
	遠賀 次郎	子	平成〇年 〇月 〇日 (〇〇歳)							
火災保険の契約状況										
保険会社名			契約年月日			保険金額 (万円)				
〇〇生命			平成〇〇年〇〇月〇〇日			1000 万円				
			年 月 日			万円				
			年 月 日			万円				

※ 記入要領

1 「建物状況欄」

- (1) 建物所有者又は管理者、占有者のみ記入して下さい。
- (2) 用途の「住宅」は住居のみの建物「併用」は住居と店舗や事務所等が一緒となっている建物「産業」は住居がなく店舗、事務所のみの建物「その他」は前記以外の建物
- (3) 「被災者欄」は世帯が現に被災した世帯の全員を記入して下さい。

2 「建物・収容物以外の罹災状況欄」

- (1) 「罹災物件欄」は塀の類、庭木の類、看板など罹災した物を記入して下さい。
- (2) 「罹災の別欄」は該当するものを○で囲んで下さい。
 - ①焼 → 燃えたもの、熱によって破損したものなど
 - ②消 → 消火するために壊れたもの、ぬれたもの、汚れたものなど
 - ③爆 → 爆発により壊れたものなど
 - ④他 → 煙で汚れた、運び出すとき壊れた、避難するとき壊したものなど

※ 備考

- 1 この申告書は、消防法第34条第1項に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、罹災した建物1棟について1枚を使用して下さい。
- 3 火災による罹災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 4 この申告書でわからないことがありましたら、消防本部までご連絡ください。

該当する火災番号を、受け付けた職員により記入

※ 受付欄

※ 火災番号

罹災物件名	罹災別	数量・面積	経過年数	購入金額
不動産に該当するものを記載	焼・消・爆・他			
	焼・消・爆・他			
	焼・消・爆・他			
該当するものを○で囲んでください	焼・消・爆・他			
	焼・消・爆・他			
● 不動産とは 建物など継続的に土地に定着し、しかも定着して使用されることがその物の性質と認められるものをいいます。以下に該当例を挙げます。 - 容易に動かすことができない物置の類 - 塀や門、石垣の類 - 庭木の類 - 土地や建物等に固定された機械の類 - 備え付けのシステムキッチン等 - 水道、ガス、電気設備等 - 備え付けられている畳や障子の類（障子に書いてある絵が美術品である場合は動産として取り扱って下さい） ● 動産とは 不動産以外のものをいい、上記に挙げたもの以外が該当します。建築中の建物や仮植中の植木など定着していないものは動産に含まれます。以下に該当例を挙げます。 - 建物内の衣類、什器類、家具類、書籍類 - 容易に移動可能な農業用ビニールハウス等 - 自動車、船舶、航空機の類				
	焼・消・爆・他			
● 建築面積とは 建築物の外壁、柱の中心線で囲まれた部分の面積のことで、およそ建物を真上から見たときの水平投影面積と考えて下さい。 ● 延べ面積とは 各階の床面積の合計をいいます。2階建ての住宅であれば1階の床面積と2階の床面積を足した面積となります。 ※ 面積は「建築確認申請」、「不動産登記簿（建物）」、「賃貸契約書」などの書類を参考に記載して下さい。手元に関係書類が無く、面積が判明しない場合は空欄のままにして、提出の際にその旨を職員にお伝えください。				
	焼・消・爆・他			
	焼・消・爆・他			
	焼・消・爆・他			